

「通信と物流」のシナジー

「**足るを知る**」の未来派企業

(言志四録)に「分を知り、線や過大な設備投資などは然る後に、足るを知る」とあしていい。一步一步着実に、「足る」を知れば、人生に、しっかりと大地に根をはそれが一番の幸福だ。分下ろすが如く、果たすべきを知り、足るを知れば、人生役割を全うし、地道に信頼危うからずと言える。企業と実績を培ってきている。も長く繁栄し続けている (株)J・C・O・S(代表取締役社長・松本 健氏)は、「通るところは、身の丈をよく信と物流のシナジーによる知っていて、無闇な拡大路

新しい価値の創造」を独自のビジネスモデルとしている21世紀型未来派企業。2005年の創業時は(株)日本通信システムの社名で、通信事業の専門会社だった。しかし、当時からインターネット接続や設定を行っている際に、インターネットプロバイダーの変更を家の引越と同時にできないかという相談を多くのユーザーから受けるようになっていった。引越とインターネットの同時引越型モデルの開発、これこそが同社の柔軟思考の根幹であり、その後の成長を支えた原動力でもある。大手企業には真似のできないキメの細かいサービスと積み重ねてきたネットワークをフルに活用し、他社を圧倒する低価格モデルを実現したことが何よりの強みだ。まさに「分を知り、然る後に、足るを知る」が如く、決して拡大志向に走らず地道に信用と実績を培うという姿勢こそ、身の丈を着実に伸ばしている要因であり、基軸と言えよう。